

小型井戸候補地さん宅コールタマエ村コットンさん宅

住所：カンボジア国シェムリアップ州ポピル郡ドンダイク区コールタマエ村

以下の URL は候補地のある場所です。

[Google マップ](#)

井戸の候補地は、アンコールワットで有名なシェムリアップの街から車で約 1 時間のところにあるコットンさん宅です。井戸はコットンさんの家族ともうひと家族の合計 8 人で使用する予定です。

コッ トンさん宅 家族構成

コッ トン	(男性)	58 歳	(夫)	職業： 農家	白いボタンシャツの人
コウー リン	(女性)	55 歳	(奥さん)	職業： 農家	模様のボタンシャツの人
ツー トゥム	(女性)	26 歳	(長男の奥さん)	職業： 農家	グレーの長袖の人
トン ティー	(男性)	23 歳	(長男)	職業： 農家	NY の T シャツの人
トゥム ツイヤー	(女性)	4 歳	(孫)		プリント T シャツの人

👉 コットンさん家族の集合写真



コットンさん宅の現状について

コールタマエ村に住んでいるコットンさんとそのご家族は現在お米とジャガイモを育て、その育てたものを賣ることで生計を立てております。しかし、その収入が年\$500程度と少なく、家族5人なのでひとりあたり年\$100（約1万円）程度しか使えないのが現状です。

また、食の面でも満足に食べられているわけではなく、畠仕事がないときには4キロ離れた湖に行って釣りをすることで自分たちの食の足しにしております。

コットンさん宅の生活について



↑家の前での集合写真

コットンさん宅の家の屋根と側面はヤシの木の葉っぱ、柱や床などは自分たちで切ってきた木を使ってできています。この家は大工さんが建てたものではなく、すべてコットンさん宅と近所の方が協力して建てたものになります。

カンボジアの田舎ではこうして自分たちで家を建てるることは珍しくなく、自分達だけで立ててします家族もいればコットンさんたちのように近所の方と協力して家を建てる家族もいて、近所の方と協力して作る場合は手伝ってくれた近所の方にお金を少し払う必要があります。また、素人が木や葉っぱで作るため耐久面も悪くすぐボロボロになってしまったり、しっかり雨風がしのげなかったりします。

家の中はそれほど大きいわけではなく、何かたくさんものがあるわけでもないです。簡単な寝室と料理場があるだけで、それ以外は特に何もありません。また、寝室には蚊に刺されないための蚊帳があります。カンボジアは蚊が多いため、デング熱になる危険性が高くその予防として蚊帳を使って寝ている家庭を田舎でよく見ます。

また、料理をする時と寝るとき以外の日中の時間帯は外で仕事していることが多いです。これはカンボジアの気候がかかわっていて、電気の通っていない田舎では当然エアコンもないで

家の中は非常に熱く、日中は風の通りやすい居住スペースの下の部分であったり太陽の当たらない木陰などの外のスペースで過ごします。

コットンさん宅の水について

コットンさん宅は今現在、生活水は近所の方からもらってきた水を使っていて、飲み水は業者から買えるウォータータンクの水を飲んでいます。

ウォータータンクの水は\$0.75かかり、それを5人家族で約2日ですべて飲んでいますので、2日で\$0.75、1ヶ月で約\$11.25、1年で約\$135かかるので、大きな出費といえます。

もし、井戸ができてこの飲み水を買わなくてよくなつた場合、経済的にコットンさん宅の助けになるでしょう。



↑畑（奥）と食器を洗う所（手前）

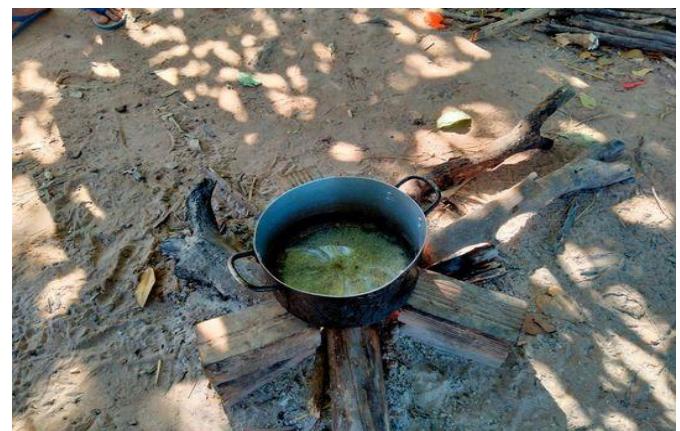


↑寝床

コットンさん一家は主に農業で生計を立てており、その農業をするには水が必要不可欠です。しかし、その水は毎回近所の人からもらってこなくてはいけません。

その負担を減らすために彼らは工夫しており、その一つが小さな簡易的な畑を、普段水を使う所の近くに作ることです。

そうすることで水を使った時に地面にこぼれてしまった水や余った水を無駄にせず効率的に作物にあげることができます。あまり多くの水を一度にあげられないので畑を大きくできないですし、なにより水を使う周りにしか農作物を植えることができません。



↑火を焚いて食事を作っています

食事を作るときに使う水は飲料水の方ではなく生活水の方を使っており、沸騰させれば問題ないという意識でこの水を使っていますが、たまにお腹を壊してしまうのも事実で、きれいな水で料理を作れば彼らの生活は改善すると思われます。

以上で報告を終わります。非常に貧しい世帯ですので井戸支援で大きく生活が改善すると思っております。よろしくご支援いただきますようお願いします。

作成 PHATH SINATH